

令和元年度相談受理件数(子ども家庭支援センター)

主訴項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
養護	児童虐待	身体的虐待	67	110	104
		心理的虐待	77	86	123
		ネグレクト	20	46	63
		性的虐待	1	3	0
	小計	165	245	290	
	その他相談	199	249	233	
健康・保健相談		5	1	3	
障害	肢体不自由	0	0	0	
	視聴覚障害	1	0	0	
	言語発達障害	3	4	1	
	重症心身障害	0	1	0	
	知的障害	1	2	1	
	発達障害	5	16	15	
非行	ぐ犯行為	1	0	0	
	触法行為				
育成	性格行動	13	43	29	
	不登校	44	17	14	
	適性	2	0	0	
	育児・しつけ	43	42	41	
その他		213	260	227	
合計		695	880	854	

ケースワーカー相談

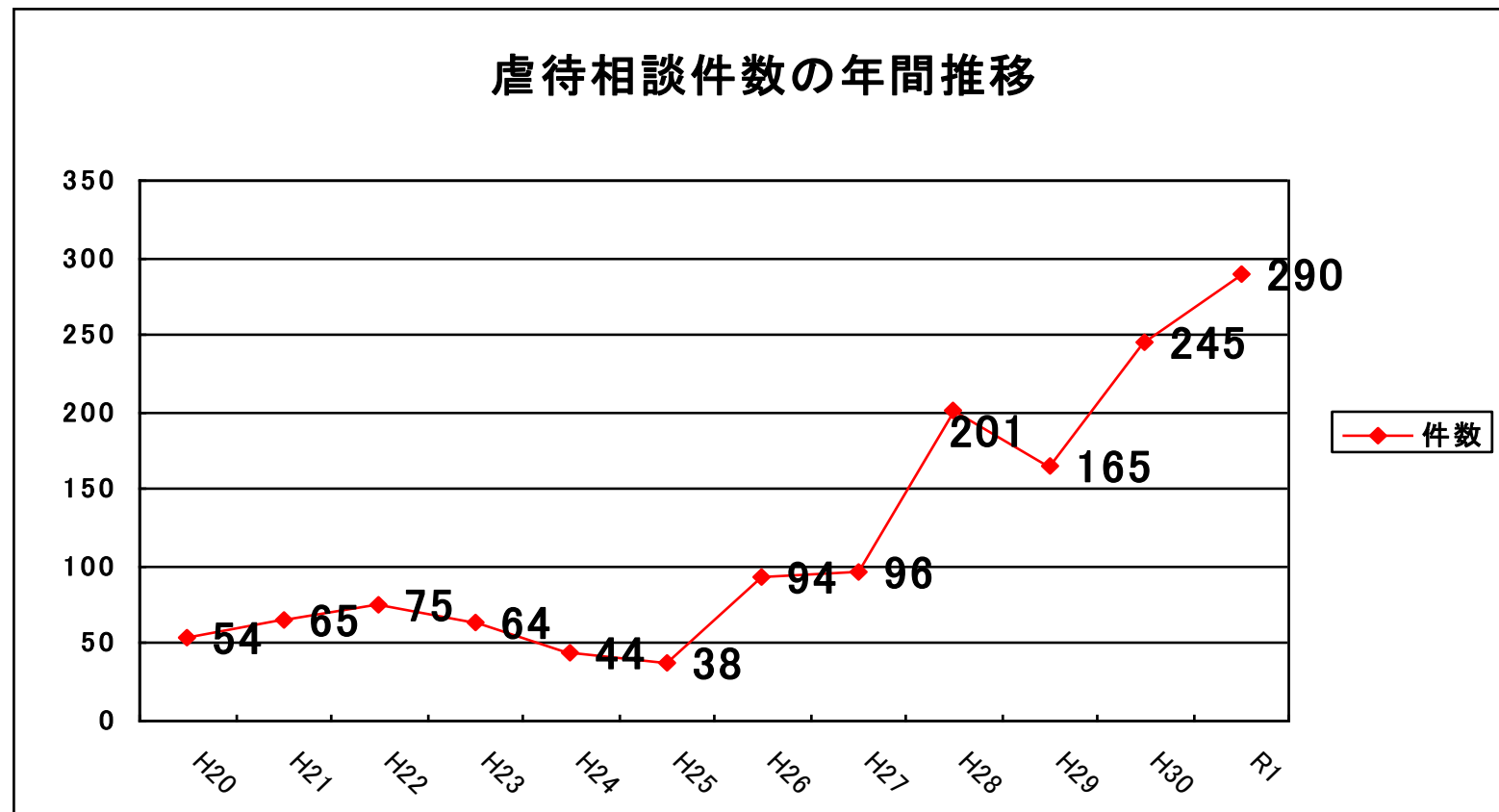
	29年度	30年度	令和元年度
訪問面接	5,430	7,507	7,663
所内面接	1,601	2,465	2,811
電話	10,895	14,640	18,633
合計	17,926	24,612	29,107

個別ケース会議

	29年度	30年度	令和元年度
合計	113	88	61

主な虐待者

	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	計
身体的虐待	43	1	54	0	6	104
性的虐待	0	0	0	0	0	0
心理的虐待	72	0	43	0	8	123
ネグレクト	5	0	58	0	0	63
合計	120	1	155	0	14	290



児童相談所送致及び通知等

	送致 件数	通知 件数	要請 件数	提供 件数
30年度	0	0	12	12
令和元年度	7	0	7	5

令和元年度の虐待受理件数は290件で前年度比45件の増加となっています。虐待種別では心理的虐待が123件で最多となり、昨年度最多の身体的虐待を多く上回っています。心理的虐待増加の要因は令和元年10月に開始された児童相談所から子ども家庭支援センターへの送致であり、3月末までの約半年間で39件でした。送致される虐待の内容は、子どもの面前での夫婦喧嘩で心理的虐待として警察から児童相談所に書類通告された事案です。虐待以外の相談も含めた全受理件数は854件となり、昨年度より26件減っています。ケースワーカーの訪問、面談、電話相談件数はすべて増加しており、合計29,107件でした。個別ケース会議は61件で前年度より17件減っています。日野市から児童相談所への送致等は、援助要請、情報提供は減少しておりますが、前年度0件の送致が令和元年度は7件と増加しています。これは深刻な虐待事案が増加していることが要因と考えられます。